



こんにちは、こんにちは、世界の国から♪♪

校長 手代木 英明

1970年（昭和45年）3月から半年間、大阪で開催された日本万国博覧会（大阪万博）のテーマソング「世界の国からこんにちは」の三波春夫の歌声は、今も心に残っています。当時私は、6年生でした。夏休み明けに「大阪万博で月の石、見てきたんだ。」と友達に言われて、とても羨ましかったことを鮮明に覚えています。アポロ12号が持ち帰った「月の石」が見られるなんて、夢のような出来事でした。テレビや雑誌で多くの情報を得ることはできましたが、実際に見た人にはかきません。この夏休み、私は46年の時間を超えて、太陽の塔を見て、アメリカ館の跡地のプレートの前に立つことができました。大阪万博記念公園の太陽の塔と日本庭園、各国のパビリオン跡を歩いただけですが、その大きさと素晴らしさに当時の「日本の力」を感じることができました。小学生の時の記憶は、一生残るものです。皆さんは、この夏にお子さんとのどんな体験ができましたか？



大阪万博記念公園に立つ太陽の塔



背中には、もう一つの顔があります。



大阪城の金の鯉

2020年には、「東京オリンピック・パラリンピック」が行われます。西原の子供たちが、どんな思い出をつくるのかが楽しみです。

右の写真は、大阪城の金の鯉です。大阪城は1931年（昭和6年）に再建されたものですから、エレベーターがあります。エレベーターで天守閣に上がるときに驚いたことがあります。「この中に日本人のお客様は、いらっしゃいますか？」とエレベーターのガイドの女性が言ったのです。満員のエレベーターの中で「ハイ」と答えたのは私たちだけでした。ガイドは、私たちのために日本語で説明をした後 Where are you from?と聞いて、韓国語、中国語で説明していました。「東京も、こうなっていくのだろうか。」と思いました。

これからの時代を生きる子供たちは、英語はもちろんのこと、いくつかの国の言葉で意思表示ができることが当たり前になっていくことでしょう。文部科学省は、5・6年生の週1時間の「英語活動」を、週2時間の「英語」とすることを検討していますが、グローバル社会を生き抜く子供たちに必要なのは、語学力ではありません。大切なことはコミュニケーション能力です。小学校では、「自分の気持ちを伝える」「友達と仲良くする」ということが重要なのです。夏休み明けも豊かな人間関係を築くことができるように指導をしていきたいと思っております。

渋谷区は、パラリンピックを応援しています。

昨年12月に3年生が西原スポーツセンターで練習を見学したウィルチェアラグビー日本代表がリオネジャネイロ・パラリンピックに出場します。みんなで応援しましょう。